

# モーツァルト室内管弦楽団 第64回 定期演奏会



©Yoshinobu Fukaya/aura Y2

独唱：楠野麻衣  
(ソプラノ)

徳島県出身。徳島文理大学音楽学部音楽学科声楽コース卒業。優秀卒業演奏賞受賞。2012年、財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部31期修了。同年第4回徳島音楽コンクールグランプリを受賞。2013年イタリア、ベネチアのアカデミア・ロッシーニアーナに参加。世界的指揮者A.ゼッパ氏の下で研鑽を積み、同地開催のロッシーニ音楽祭における若手公演『ランスへの旅』にモデステーナ役で出演し、好評を博す。

国内では、新国立劇場開催の文化庁委託新進芸術家育成事業披露演奏会に、歌手M.デヴィア氏の推薦を受けて出演。

藤原歌劇団では、2015年『ランスへの旅』モデステーナで出演しデビューを飾った。その他、アルテリッカしんゆり2014『魔笛』夜の女王、にっぽん丸新春オペラクルーズ『こうもり』イータ、文化庁の戦略的芸術文化推進事業『愛の妙薬』香川公演のジャンネッタで出演。アンダースタディーとしては2016年本公演ベッリーニ『カプレーティ家とモンテッキ家』ジュリエッタ、2015年帝国ホテル ジ・インペリアルオペラ『メリー・ウィドウ』ハナナ等で研鑽を積み、さらに『カルメン』フラスキータ、『ラ・ボエーム』ムゼッタ、マスネ『サンドリヨン(シンデレラ)』妖精などのオペラ、およびコンサートの出演のほか、TVCMやラジオなど、メディアでも活躍の場を広げる新進気鋭のソプラノ。

2017年冬から第2回立石信雄海外研修奨学生としてイタリア留学を予定。藤原歌劇団正団員。

W.A. モーツァルト：

交響曲 第25番 ト短調 K.V. 183

演奏会用アリアから

レチタティーヴォとアリア K.V. 368

「しかし星々よ、お前たちはなにをしたのか」

'Ma che vi fece, o stelle'

「私は岸辺が近いと期待し」 'Sperai vicino il lido'

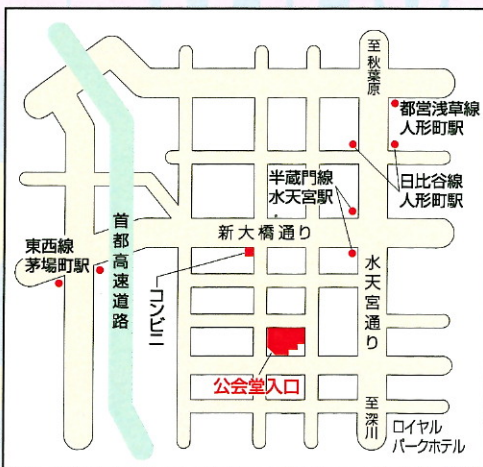
アリア K.V. 418

「神よ、私は打ち明けたい」'Vorrei spiegarvi, oh Dio!'

L.v. ベートーヴェン：

交響曲 第1番 ハ長調 Op. 21

演奏：モーツァルト室内管弦楽団



交通：  
東京メトロ 半蔵門線「水天宮前」駅6番出口から徒歩2分  
日比谷線「人形町」駅A2出口から徒歩5分  
東西線「茅場町」駅4-a出口から徒歩10分  
都営地下鉄 浅草線「人形町」駅A3・A5出口から徒歩7分  
中央区コミュニティバス（江戸バス）  
北循環25「日本橋区民センター」下車0分

※ホール（観客）・集会室用の駐車場はございません。  
お車でのご来場はご遠慮ください。

指揮：角 岳史



島根県に生まれる。東京学芸大学芸術課程音楽科卒業。指揮と作曲を学ぶ。1995年よりウィーンに留学し研鑽を積む。

1996年より2009年まで（財）日本オペレッタ協会の全ての公演において、指揮者または合唱指揮者として、『こうもり』『メリー・ウィドウ』をはじめとする数多くのオペレッタに携わる。オペラでも、これまで各地の団体にモーツァルト『フィガロの結婚』『ドン・ジョヴァンニ』『魔笛』、ヴェルディ『椿姫』『リゴレット』、プッチーニ『ボエーム』、ビゼー『カルメン』、フンパーディンク『ヘンゼルとグレーテル』、團伊玖磨『夕鶴』などを指揮。1998～1999年シーズンには劇団四季のロングラン公演『オペラ座の怪人』でミュージカル指揮者としても活動。またオーケストラや合唱の指揮者、指導者としても各方面で活躍している。近年では、コンサートやオペレッタの舞台のプロデューサー、構成演出、台本なども手がけている。現在、東京オペレッタ劇場音楽監督。指揮を井崎正浩、湯浅勇二、松尾葉子、ヴァラディ・カタリン、ルドルフ・ピーブルの各氏に、作曲を故青木祐二、吉崎清富の各氏に師事。

当楽団ではこれまで10年以上にわたって、ほぼ毎年定期演奏会などを指揮。

2017年6月11日(日) 午後2時開演

日本橋公会堂4階ホール

中央区日本橋蛸殻町1-31-1

チケット：¥1,000(全席自由) 問い合わせ先：042-397-2883 藤井 方

モーツァルト室内管弦楽団のホームページ：<http://orchestra.musicinfo.co.jp/~mco/>

このホームページはクラシック音楽情報センター (<http://www.musicinfo.com>) よりサーバーの無償提供を受けています。